



特定非営利活動法人

アジア眼科医療協力会

2022年度事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)



目次

巻頭言	3
2022年度事業報告	4
2022年度決算報告	6
2023年度事業計画	9
2023年度予算	10
寄付者名簿	11
アイキャンプ 温故知新	
～歩く人～	13
出会いと繋がりに感謝	22
役員・顧問名簿	24
活動理念	25
事務局よりご報告とご案内	26

《卷頭言》



アジア眼科医療協力会（AOCA）は、50年に渡り、ネパールを中心に途上地域における眼科医療支援に取り組んできたNGOです。この度、私がAOCAの理事長を引き継ぐことになりました。初代の岩橋英行理事長から高橋幸男先生、西田武先生、黒住格先生、鮑浦淳介先生、黒田真一郎先生へ引き継がれてきた、歴史あるAOCAを担うことは身の引き締まる思いであります。AOCAが半世紀の活動を継続できたことは、AOCA会員や関係者、皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

AOCAは、白内障による失明救済のための白内障手術活動であるアイキャンプ、医師・眼科技師・保健師なども含めた眼科人材教育、病院・眼科診療所の運営支援、医療物品の寄贈などを行ってきました。2000年からは、インドのダラムサラにおいてアイキャンプ中心の支援活動を行ってきました。2020年からは、COVID-19流行が繰り返し、現地での医療活動が行えない社会背景がありました。そのため、最近3年間は、感染対策防護具、医療物品や中古機器を寄贈するという活動に留まりました。2023年5月、政府方針の転換とともに、日本でも活動制限が大幅に緩和され、2023年度は、ダラムサラで4年ぶりのアイキャンプ活動を予定しております。

半世紀に渡るAOCAの活動は、「世界で目が見えずに困っている人々がいるなら、何かしたい」という、皆様の共感、ご支援に支えられております。時代が変わろうとも、AOCAの根底にあるものは、『誰もが自分や自分の家族以外の見知らぬ人の為に一つだけ思いをかけることができたなら、世の中は少しずつよくなりますね』という黒住先生のお言葉に変わりはないと思います。AOCAは、微力ながらも現地の要請に応じて求められる眼科医療支援を続けてまいります。皆様のご支援、ご協力が、多くの人々の未来を明るく照らしてくれると信じております。今後とも末永いご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力会

理事長 浅野 宏規

概要

2019年12月に中国の武漢で発生し世界中に感染が拡大し、3年目を迎えた2022年度も、支援地に赴いて支援活動を行うアイキャンプ活動が実施できなかった。22年前からアイキャンプ活動を行ってきたインド・北西部の丘陵地にあるダラムサラのデレック病院における活動、ならびに4年前から2回行ったインド南部カルタナカ州のバイラクuppeにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalにおける活動、ともに行うことが出来なかった。現地へ赴くことに代えて今年度も医療用器材や医療用消耗品の寄贈に取り組んだ。

I. 物品寄贈

a) デレック病院への物品寄贈

過去20年にわたりインド・北西部丘陵地のダラムサラにあるデレック病院においてアイキャンプ活動を行ってきたが、2022年度については一昨年、昨年に引き続き実施できなかった。2022年度も当会からは資金提供し、デレック病院で必要な医療用の物品を購入するかたちで寄贈を行った。

b) Tso Jhe Khangsar Charity Hospitalへの物品寄贈

インド南部カルタナカ州のバイラクuppeにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalでのアイキャンプ活動は2021年度同様コロナ禍のために実施できなかった。当病院にもダラムサラのデレック病院と同じ方法で病院に必要な物品の寄贈を進めている。

c) ネパールへの物品寄贈

ミサキメディカルより寄贈いただいた眼科医療器材、ローデンストック社製のスリットランプをネパールのNGO団体ネトラジョティサンを通じて現地のキリトプール眼科病院に寄贈した。

II. ネパール訪問

2023年1月末に、ネパールの現在の眼科医療事情はどのようなものであるかを事務局よりカトマンズを訪問し、AOCAが支援を行ってきたネパール眼科病院やネトラジョティサンを訪問してお話を聞いた。現在では眼科医の数も増え、眼科医療技術も向上し多くの患者さんを治療していた。

Ⅲ. AOCA50周年記念誌

AOCAの50周年を記念して記念誌の発行に向けて、過去にAOCAに関わってくださった方々から原稿をお寄せいただき、編集作業を継続している。

会議・会合

1. 定期総会の開催

日時：令和 4年 5月21日(土) 17:10～18:10

開催方法：ZOOMを利用してリモートにて開催

Ⅱ. 理事会の開催

- 1) 令和 4年 5月21日(土) 16:00～17:00 ZOOMを利用してリモートにて開催
- 2) 令和 4年11月17日(木) 20:00～21:00 ZOOMを利用してリモートにて開催
- 3) 令和 5年 1月28日(土) 20:00～21:00 (於：東京)



2022年度決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

2022年度 活動計算書 2022年04月01日～2023年03月31日 特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会 (単位:円)

	予算額	決算額	予算残額
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	700,000	640,000	60,000
賛助会員受取会費	150,000	105,000	45,000
受取会費計	850,000	745,000	105,000
受取寄付金			
受取寄付金	800,000	2,472,278	-1,672,278
募金収益	50,000	54,669	-4,669
50周年記念イベント	20,000	35,000	-15,000
広告料収益	16,500	11,000	5,500
受取寄付金計	886,500	2,572,947	-1,686,447
受取助成金等			
受取民間助成金			
- 兵庫県眼科医会	50,000	50,000	0
- 一燈園	500,000	300,000	200,000
受取助成金等計	550,000	350,000	200,000
その他収益			
受取利息	30	22	8
雑収益	20,000	0	20,000
その他収益計	20,030	22	20,008
経常収益合計	2,306,530	3,667,969	-1,361,439
事業費			
【人件費】			
給料手当	700,000	0	700,000
【人件費計】	700,000	0	700,000
【その他費用】			
通信運搬費	70,000	17,700	52,300
消耗什器備品費	0	50,000	-50,000
賃借料	277,200	0	277,200
雑費	30,000	0	30,000
予備費	300,000	0	300,000
【その他費用計】	677,200	67,700	609,500
事業費計	1,377,200	67,700	1,309,500
管理費			
【人件費】			
給料手当	300,000	1,000,000	-700,000
法定福利費	3,020	3,020	0
【人件費計】	303,020	1,003,020	-700,000
【その他費用】			
会議費	20,000	22,110	-2,110
通信運搬費	150,000	176,974	-26,974
消耗品費	30,000	15,073	14,927
事務用品費	10,000	4,161	5,839
印刷製本費	730,000	36,899	693,101
保険料	6,500	6,500	0
水道光熱費	35,000	32,145	2,855
支払地代家賃	118,800	396,000	-277,200
委託費	30,000	30,000	0
諸会費	85,000	85,000	0
支払手数料	30,000	38,732	-8,732
租税公課	0	600	-600
雑費	10,000	16,300	-6,300
【その他費用計】	1,255,300	860,494	394,806
管理費計	1,558,320	1,863,514	-305,194
経常費用合計	2,935,520	1,931,214	1,004,306
当期経常増減額	-628,990	1,736,755	-2,365,745
税引前当期正味財産増減額	-628,990	1,736,755	-2,365,745
当期正味財産増減額	-628,990	1,736,755	-2,365,745
前期繰越正味財産額	6,392,828	6,392,828	0
次期繰越正味財産額	5,763,838	8,129,583	-2,365,745

2022年度決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 2017年12月12日最終改正)によっています。

(1) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目名	現地	事業部門計	管理部門	合計
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
正会員受取会費	0	0	640,000	640,000
賛助会員受取会費	0	0	105,000	105,000
受取会費計	0	0	745,000	745,000
受取寄付金	0	0	2,472,278	2,472,278
募金収益	0	0	54,669	54,669
50周年記念イベント	0	0	35,000	35,000
広告料収益	0	0	11,000	11,000
受取寄付金計	0	0	2,572,947	2,572,947
受取民間助成金	0	0	350,000	350,000
受取助成金等計	0	0	350,000	350,000
受取利息	0	0	22	22
その他収益計	0	0	22	22
経常収益合計	0	0	3,667,969	3,667,969
(2) 経常費用				
【人件費】				
給料手当	0	0	1,000,000	1,000,000
法定福利費	0	0	3,020	3,020
【人件費計】	0	0	1,003,020	1,003,020
【その他費用】				
会議費	0	0	22,110	22,110
通信運搬費	17,700	17,700	176,974	194,674
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	50,000
消耗品費	0	0	15,073	15,073
事務用品費	0	0	4,161	4,161
印刷製本費	0	0	36,899	36,899
保険料	0	0	6,500	6,500
水道光熱費	0	0	32,145	32,145
支払地代家賃	0	0	396,000	396,000
委託費	0	0	30,000	30,000
諸会費	0	0	85,000	85,000
支払手数料	0	0	38,732	38,732
租税公課	0	0	600	600
雑費	0	0	16,300	16,300
【その他費用計】	67,700	67,700	860,494	928,194
経常費用合計	67,700	67,700	1,863,514	1,931,214
当期経常増減額	-67,700	-67,700	1,804,455	1,736,755
税引前当期正味財産増減額	-67,700	-67,700	1,804,455	1,736,755
当期正味財産増減額	-67,700	-67,700	1,804,455	1,736,755

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は8,129,583円ですが、そのうち99,053円はネパール震災支援に、260,000円は50周年記念事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は8,770,530円です。

内 容	期首残高	当期増減高	当期減少高	期末残高	備 考
ネパール支援	99,053	0	0	99,053	ネパール震災支援の寄附金
50周年記念事業	225,000	35,000	0	260,000	AOCA50周年記念事業への寄附金
合 計	324,053	35,000	0	359,053	

2022年度決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

2021年度 貸借対照表
2022年3月31日現在
特定非営利活動法人アジア眼科医療協会 (単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
現金	111,417
当座預金	2,869,272
普通預金	3,308,972
前払金	39,500
流動資産合計	6,329,161
固定資産	
電話加入権	72,000
固定資産合計	72,000
資産合計	6,401,161
負債の部	
流動負債	
未払費用	8,333
流動負債合計	8,333
固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	8,333
正味財産の部	
前期繰越正味財産	6,746,435
当期正味財産増減額	-353,607
正味財産合計	6,392,828
負債及び正味財産合計	6,401,161

for premium Quality

選ばれるクオリティ

一人ひとりの快適な ^{View}視力のために

一人ひとりの新たな ^{Vision}未来のために

made in kyoto

株式会社 株式会社 株式会社

本社 〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町46番1 TEL.075-315-3050

2023年度事業計画書

概要

2019年12月に発生したCOVID-19流行も約3年の自粛期間を経て、経済活動を始め様々な活動がCOVID-19流行以前に戻ってきている。当会が発足以来継続して行ってきたアイキャンプ活動を今年度より再開する予定である。

I. アイキャンプ活動

1. インド・ダラムサラアイキャンプ

期間：2023年12月22日～2023年12月31日（診療手術はそのうち4日）予定

浅野理事長を隊長として、眼科医4名、看護師1名、視能訓練士1名、他1名の参加を予定している。

II. AOCA50周年記念誌の発行

AOCAに関わってくださった方々からお寄せいただいたメッセージを掲載した、AOCA50周年記念誌を11月頃には発行する。

III. バザーの開催

西宮市NPOフェスティバル（3月開催予定）に参加して、バザーの出店での収益を活動資金とする。AOCA理事・監事のみなさまに3月に向けてバザーに出品する品物をお寄せいただくよう依頼する。



2023年度予算

2023年4月1日～2024年3月31日

2023年度 活動予算書
2023年04月01日～2024年03月31日
特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会（単位：円）

科目	2023年度予算額	管理費
1. 経常増減の部		【人件費】
(1) 経常収益		給料手当 300,000
受取会費		法定福利費 3,020
正会員受取会費 750,000		【人件費計】 303,020
賛助会員受取会費 110,000		【その他費用】
受取会費計 860,000		会議費 20,000
受取寄付金		通信運搬費 150,000
受取寄付金 1,500,000		消耗品費 30,000
募金収益 50,000		事務用品費 10,000
50周年記念イベント 20,000		印刷製本費 730,000
広告料収益 11,000		保険料 6,500
受取寄付金計 1,581,000		水道光熱費 35,000
受取助成金等		支払地代家賃 118,800
受取民間補助金 550,000		委託費 30,000
受取民間助成金 300,000		諸会費 85,000
受取助成金等計 850,000		支払手数料 30,000
事業収益		雑費 10,000
ダラムサラアイキャンプ		【その他費用計】 1,255,300
活動収益 600,000		管理費計 1,558,320
事業収益計 600,000		経常費用合計 3,895,520
その他収益		当期経常増減額 15,510
受取利息 30		税引前当期正味財産増減額 15,510
雑収益 20,000		当期正味財産増減額 15,510
その他収益計 20,030		前期繰越正味財産額 8,129,583
経常収益合計 3,911,030		次期繰越正味財産額 8,145,093
(2) 経常費用		
事業費		
【人件費】		
給料手当 700,000		
【人件費計】 700,000		
【その他費用】		
旅費交通費 1,100,000		
滞在費 100,000		
通信運搬費 10,000		
レンタル料 50,000		
消耗品費 20,000		
保険料 70,000		
支払地代家賃 277,200		
雑費 10,000		
【その他費用計】 1,637,200		
事業費計 2,337,200		

役員・顧問名簿

.0

理事長	浅野 宏規	土浦協同病院眼科
副理事長	松本 英樹	眼科松本クリニック院長
	岡田 明	おかだ眼科院長
理事	黒田 真一郎	永田眼科 理事長
	井口 博之	東淀鋼材株式会社社長
	植木 麻理	永田眼科
	籠谷 保明	かごたに眼科院長
	柏瀬 光寿	柏瀬眼科院長
	黒住 淑子	故 黒住格前理事長夫人
	原 吉幸	原眼科医院副院長 大阪大学医学部臨床教授
	松田 聡	松田アイクリニック院長
	川邨 夫美子	プロパティ・ケア
	荒木 敬士	兵庫医科大学病院眼科
監事	藤原 りつ子	医療法人社団吉徳会会長
顧問	西田 多弋止	一燈園 当番 AOCA第三代理事長(昭和63年9月～平成6年)
	井浪 智夫	元(株)イナミ代表取締役
	小澤 素生	(株)ニデック代表取締役社長
	可児 一孝	滋賀医科大学眼科名誉教授
	雑賀 司珠也	和歌山県立医科大学教授
	塩田 洋	徳島大学名誉教授・総合病院回生病院眼科
	古川 清実	兵庫県眼科医会会長
	佐堀 彰彦	大阪府眼科医会会長
	飽浦 淳介	(株)MIRAI EYE代表取締役・宮崎大学農学部附属動物病院 研究員 串本有田病院眼科専門医・鳥取大学医学部臨床教授 明治国際医療大学客員教授・AOCA第五代理事長(平成14年3月～平成26)
	牧野 芳久	なめり牧野眼科院長
	安井 多津子	元安井眼科診療所院長
	山口 洋徳	(株)はんだや代表取締役
名誉会員	岩橋 英行	AOCAの提唱者(昭和46年1月7日付朝日新聞紙上) 元世界盲人福祉協議会副会長(WBWC)・元日本ライトハウス理事長 AOCA初代理事長(昭和47年4月～昭和57年1月)
	高橋 幸男	元日本眼科医会副会長・元大阪府眼科医会会長 AOCA第二代理事長(昭和57年～昭和63年)
	黒住 格	元市立芦屋病院診療局長・眼科部長 ネパール眼科医会名誉会員・AOCA第四代理事長(平成7年～平成14年3月)
	樋口 雄二	元大阪府眼科医会理事・ミャンマー担当
	立林 和枝	元眼科松本クリニック看護婦長
	大橋 敏夫	元(株)サンコンタクトレンズ会長
	橋本 勝利	元音戯工房代表

想う *Imagine*

紛争・テロ・貧困・飢餓…。国、民族、宗教、主義そして個人、それぞれのエゴがぶつかり合う…。それが21世紀の現実である。この比較的平和な日本の我々の日常のはるか向こうで、確かに存在している幾千万、幾億もの苦しみや悲しみに想いを巡らせよう。もし自分や自分の家族がその国に生まれ、自分の生き方さえも選べず不幸のうちに閉じ込められている人間の一人だったら…とありありと想像してみよう。

奉仕する *Serve*

自分の家族の者が目の前で苦しんでいるのを見て、黙って見過ごせる人がいるだろうか。我々は世界の問題を自分や自分の家族の問題としてとらえ、世界の片隅で悲しみや苦しみを抱えて生きている人々が少しでも幸せに生きられるよう、何かの形で（我々の得意とする眼科医療の面）で奉仕しようと集まった。金と暇を持って余した人がするのではなく、わずかばかりの無駄を省き、時間を作り、奉仕するのである。

尊ぶ *Respect*

その人の思想、主義、宗教、生まれ、地位や貧富によらず、この地上に生きている一切の人を尊ぼう。大いなるものの下では、一人ひとりがかげがえのない崇高な命である。

内省する *Introspect*

立ち止まってよく考えてみよう。この世界の対立や争いの元は、我々自身の中に巣食っている貪欲であり憎悪であり過剰な利己心であることを。人間を不幸に陥れる問題の根は我々自身の中にあり、その解決への道も我々自身の中にあることを。我々一人ひとりが、心の中に争いの種を持たない、真に優しい人間にならない限り、平和な世界はやってこないのである。

志す *Aim*

大袈裟かもしれないが、我々の活動は、争いのない幸せに満ちた世界を実現する為の人類の未来をかけた一つの運動であると考えよう。好きでなくても多少の危険があっても行わなければならない、ヒューマニズムに根ざした運動であると位置付けよう。我々地球市民の一人ひとりが、小さな草の根のところから立ち上がらねば、この地球は不信と憎悪と暴力の連鎖の中に滅びるであろう。

楽しむ *Enjoy*

私達の日々の活動においては、決して怒らず、争わず、大声を張り上げず、眉間に皺を寄せず、辛いことを率先して行い、みんなで楽しく和やかに行うことを旨としよう。そうしてまず、私達の周りの小さな世界を、争いのない喜びに満ちた世界にするところから始めよう。

アジア眼科医療協力会は、1972年にAOCAはネパールを中心としたアジアの地域に対して、眼科医療の面で様々な援助活動を行うことになりました。当初はネパールには眼科医が3名しかいなかったことから、病院のない僻地に医療チームを派遣し、学校などを仮設病院として、白内障手術を中心とした医療を無償で行うアイキャンプ活動から始まりました。また、白内障の手術治療をするだけでなく、その原因を断つために、ネパール人の人材育成にも力を入れ、眼科機材の技術者、看護師、眼科医を日本に招聘して日本の病院や企業で研修を通してネパール人のために働ける人材を育てました。

1988年には日本人眼科医をネパールのケディア病院に長期派遣して、病院の運営や支援活動を行いました。1997年にはネパールでも最貧地区であるゴールに、24時間テレビチャリティ委員会と協働で、ゴール眼科病院を建設して病院運営に力を注ぎ、ゴール病院の自立も果たし、ケディアとゴールの2つの病院で、年間1万5千人を超える手術を行うまでになりました。

2007年から2010年にかけて、独立行政法人国際協力機構（JICA）と草の根技術協力「ネパールにおける眼科医療システム強化プロジェクト」を行い、眼科医の技術力や保健師の眼科知識向上を図り、一人でも多くの草の根の人々に、眼科医療がいきわたるシステム作りを行いました。

一方、2000年から始まったインド北西部、ヒマチャルプラディッシュ州カングラ県にあるダラムサラでのアイキャンプ活動は継続して行っております。チベット亡命政府があるダラムサラに、唯一あるデレク病院には眼科医がいないこともあり、デレク病院からの強い要請のもと、毎年年末にアイキャンプ隊を派遣し、毎回40名から70名ほどの患者さんに白内障手術を施しております。

また2018年度には、南インドのチベット難民居住区であるバイラクッペに新たにアイキャンプ隊を派遣し、手術を施すことによって目を患っている現地の方々の視力を取り戻し、大変喜んでいただきました。

～記念誌の発行～

2022年のAOCA設立50周年を記念して「AOCA50周年記念誌」を2023年11月に発行する予定です。50年近い歴史のその時々でAOCAに関わってくださった方々の懐かしい思い出やコメント纏めております。

～ご支援のお願い～

皆様方の永きに亘るご支援には、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

— 三菱UFJ銀行 甲子園支店 普通預金

口座番号：5038863

名義：特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力会 理事長 浅野 宏規

(トク化エイカクトウホウジン アジアカンカイヤウキョウリョクカイ リジチョウ アサノ ヒロキ)

— 郵便振替

口座番号：00920-5-318566

口座名：アジア眼科医療協力会(アジアカンカイヤウキョウリョクカイ)



特定非営利活動法人

アジア眼科医療協力会

Association for Ophthalmic Cooperation in Asia

〒663-8104 兵庫県西宮市天道町7-10 105号

電話0798-67-3821 FAX0798-67-3823

URL: <http://www.aoca.jp/>

E-mail: info@aoca.jp